



発行所 岡山県立笠岡高等学校 同窓会 岡山県笠岡市笠岡3073の2 事務局 0865 (62) 5128 印刷 正文社印刷所

平成最後の同窓会に想う「千鳥」



同窓会会長 浅野和志

昨年七月より同窓会会長を拝命いたしております浅野和志でございます。今までの自分を反省している次第です。本日に日頃からの皆様のご支援とご厚情に心から感謝いたしますと共に厚く御礼申し上げます。

戻り、以来ずっと笠岡に住み続けています。永く地元で暮らしていますと千鳥の同窓生にお会いしても特に大きな感動はありませんが、遠く離れた地で偶然お会いするとすこく感動します。

が全国に知名度を高めてくれています。永く地元で暮らしている千鳥の同窓生にお会いしても特に大きな感動はありませんが、遠く離れた地で偶然お会いするとすこく感動します。

素晴らしい成果にも表れています。現在、本校は育てたい生徒像を「自らの人生と社会の未来を拓く人間を育てる」としています。

高校へと移行することが決定しました。新しい大学入試に対応し、生徒一人ひとりの個性や能力に合ったきめ細かな教育活動を行うため、新しいカリキュラムをスタートさせます。

え。常に不安はつきまといました。しかし、五人衆には女性Webデザイナー、女性フルート奏者と、女性活躍推進社会の縮図のようなメンバーもおり、案内状況のレイアウトや、アトラクション決めなども順調に進みました。

大ブームを起こした。その主人公が野球部のマネージャーのマニユアルだと思っただけで、内容を実践することによって弱小野球部を甲子園に出場させた本が「マネジメント 基本と原則」である。

新会長が決定し、私は引退の身ではありますが今年が私達0年組の当番年であり、私達で昭和三十年卒としてペンを持たせていただきます。

「あいさつ」

学校長 鳥越 信行



千鳥会の皆様には、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

笠岡高校は今年度で創立一七七年目を迎えました。

本校では、伝統的教育を大切に継承しながらも、時代の流れをとらえ、制服の改定、地域学の立ち上げ、総合的な学習の時間ACIT

昭和六十三年卒 虫明 純 「新たに会場探しからせんとあゝ一九八八年卒の有志が集まった時の第一声でした。

昭和五十一年卒 近畿支部 江木 宏志 去年還暦を迎えて、千鳥会大阪支部から同窓会の幹事をしたいとの依頼があった。

卒業してから五十二年。大学卒業後、しばらく社会人。その後、ふる里に帰省し、高校での教員生活。

当番年創始組

昭和三十年卒 三好 孝一

始めに過去二年間千鳥会会長不在に代表副会長として皆様の表面に立たせていただきましたが、無事二十九年夏の総会にて浅野和志



古希を超えて 昭和四十年卒 宮崎 勇次 卒業してから五十二年。大学卒業後、しばらく社会人。その後、ふる里に帰省し、高校での教員生活。



